

# フィンランド語文法：初級⑬

## MA不定詞（第3不定詞）

### 文の組み込み方

『フィンランド語との対話—吉田欣吾』

<https://yoshidakingo.com/>



# MA不定詞 (1)

- “Oma Suomi 2” の140ページ
- 「夏期講座：資料」の34課
- MA不定詞は「第3不定詞」とも呼ばれる。
- MA不定詞も日常よく使われる形なので、ここで学習する。



## MA不定詞 (2)

●動詞の語幹に -ma-/-mä- をつける。タイプ<sub>1</sub>の動詞でkpt交替が起こる語では、強形を使う。

①puhua > puhu- > **puhuma-**, lukea > luke- > **lukema-**

②syödä > syö- > **syömä-**

③tulla > tule- > **tulema-**, ajatella > ajattele- > **ajattelema-**

④siivota > siivoa- > **siivoama-**, tavata > tapaa- > **tapaama-**

⑤valita > valitse- > **valitsema-**

⑥vanheta > vanhene- > **vanhenema-**

kyetä > kykene- > **kykenemä-**



## MA不定詞 (3)

- MA不定詞は次の形で使われる。

内格 : puhu-ma-**ssa** 「話している途中で」

出格 : puhu-ma-**sta** 「話してから」

入格 : puhu-ma-**an** 「話をしに」

接格 : puhu-ma-**lla** 「話すことによって」

欠格 : puhu-ma-**tta** 「話さずに」



# MA不定詞（4）

## ● MA不定詞を使った例文

- 内格：Olen **ostamassa** ruokaa. 私は食料を買っているところだ。
- 出格：Tulen **ostamasta** ruokaa. 私は食料を買ってから来る。
- 入格：Menen **ostamaan** ruokaa. 私は食料を買いに行く。
- 接格：Lapsi oppii **leikkimällä**. 子どもは遊ぶことによって学ぶ。
- 欠格：Emme voi elää **syömättä**. 我々は食べずには生きられない。



# 文の組み込み方 (1)

- 「夏期講座：資料」の42課
- “Oma Suomi”では大きな学習項目となっていないが、すでに出てきている。



## 文の組み込み方 (2)

- 大事な語が että (英語の that に相当する)。
- että は「...だということ、...だと、...だということ」などと訳すことができる。ということは、文を名詞 (形容詞) に変えられる。
- つまり、että の付いた文は主語、目的語、補語になることができるし、あるいは名詞を修飾できる。
- että は省略することはできない。



# 文の組み込み方 (3)

- 主語：On kiva, **että sinä ymmärrät minua.**

君が私を理解してくれることはすてきなことだ。

- 目的語：Luulen, **että sinä ymmärrät minua.**

君は私を理解してくるだろうと私は思う。

- 補語：Ongelma on **että sinä et ymmärrä minua.**

問題は君が私を理解してくれないということだ。

- 名詞を修飾：Minulla on ongelma, **että sinä et ymmärrä minua.**

私には、あなたが私を理解してくれないという問題がある。





# 文の組み込み方（4）

- 疑問文はそのまま文に組み込むことができる。
- 主語：On epäselvää, **milloin hän tulee takaisin.**  
彼女がいつ戻るのかは不明だ。
- 目的語：En tiedä, **tuleeko hän takaisin.**  
彼女が戻って来るのかどうか私は知らない。
- 補語：Kysymys on, **miten hän tulee takaisin.**  
問題は彼女がどのように戻ってくるのかということだ。
- 名詞を修飾：Syntyy kysymys, **miksi hän tulee takaisin.**  
彼女がなぜ戻ってくるのかという疑問が生まれる。

